



特定医療法人社団

# 鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス  
<http://www.hoyukai.org/>

発行:2012年12月15日  
発行責任者:  
特定医療法人社団 鵬友会  
事務局長 池島 守



## 老人保健施設のあるべき姿を考える

介護老人保健施設 阿久和鳳荘 看護科長 吉田 文子

私が所属している介護老人保健施設（以下老健施設）は、家庭と医療機関・福祉施設（新しいホーム）の中間に位置し、リハビリ強化を行い「適切な生活の場所について検討する」ことが主な役割とされています。平成24年度の介護報酬改定において、老健施設は前年度比1.2%の減収が見込まれる中、その役割をより明確にするべく、在宅復帰率50%以上、ベッド回転率10%以上という在宅強化型の厳しい要件が示されました。

これら国の方針を踏まえ、当施設でも老健施設本来の役割について改めて検討し、当施設が今出来ること、これから新規に取り組むべきことを整理しました。例えば所定疾患施設療養費といったような新たに算定できるものを列挙し、どの職種が何を行えば良いのかという具体的な介護報酬収益シミュレーションを行いました。その結果、職種間で施設の方向性について理解を共有することができ、また今後の老健施設が果たすべき役割は何かと考えさせられる良い機会となりました。

先にも述べた通り、今年の介護報酬改定では「在宅復帰」と「在宅生活支援」が大きなキーワードとなっています。施設でのケアが終われば終了という訳ではなく、その後に繋がる在宅サービスまで視野に入れて地域との連携を図ることが重要となり、その拠点となるのが、今後の老健施設には求められています。このような役割を果たすためには、地域に存在する医療・介護・福祉等の社会資源を把握し、人的なネットワークの構築や入退所等に係るシステム作りが必要不可欠であると考えています。

当施設でも在宅復帰支援について、利用者やご家族の意志を最大限尊重したサポートを円滑に実施するためのモデル（在宅復帰支援パス）の作成・導入を検討しています。具体的には、専門職としての自覚を持ち、利用者、ご家族との信頼関係を構築すること、ケアの内容を利用者、ご家族と一緒に指導・確認できる体制を強化することの2点を前提とした上で、チェック項目を食事や排泄など基本的なケアの「日常生活場面」、目標設定や成果確認を含めた「リハビリ実施場面」、バイタルチェックや内服薬管理、スキンケアなどの「医療的継続場面」といった利用者の生活ステージに合わせて抽出していくといったものです。

さて、施設の役割についてはこのくらいにしておき、次に私自身、看護科長の立場から少しお話させて頂きたいと思います。老健施設での看護師が担う役割として「健康の増進」「疾病の予防」「健康の回復」「苦痛の緩和」が示されていますが、これは当然看護職だけでは無理で、日常のケアやリハビリといった多職種の職員が関わって初めて達成されます。利用者にとって一番良いケアを提供するという一つの目標に向かって、職員一人ひとりが互いの役割や立場が異なることを理解し尊重しつつ、意見を出し合い、擦り合わせていくことが大切なことだと思います。高齢者の疾病の前兆は教科書通りに現れることはほとんどないので、日常の些細な変化も見逃すことはできません。当施設で共に働く職員が専門職として一丸となり、様々な視点から利用者にとって効果的なより良いケアを提供できるよう、更には利用者やご家族との信頼関係をより強固にするため、更なる努力をしていきたいと思っています。

# 通所リハビリテーションってご存知ですか？

 通所リハビリテーションとは、病状が安定期にある要介護者が介護老人保健施設等に通り、理学療法・作業療法・その他必要なリハビリテーションを受けるサービスのことで、医療的ケアの機能を併せ持っていることが特徴です。

 介護老人保健施設 阿久和鳳荘では、自宅までの送迎はもちろん、利用者一人ひとりに合わせたリハビリや多様なレクリエーションを取り入れ、利用者様の心身の機能の維持・回復を図り、居宅において自立した日常生活を営むことができるように支援いたします。また、おいしい食事や大浴場も完備しており、皆様にご好評を頂いております。「今の体力を維持して、自分らしい生活を送りたい」「脳梗塞などでマヒが残り、日常生活に戻れるか不安」などでお困りの方は、是非一度見学にお越し下さい！



## ＜お問い合わせ＞

介護老人保健施設 阿久和鳳荘  
通所リハビリテーション

〒245-0009  
横浜市泉区新橋町1783  
(湘南泉病院となり)  
☎ 045-812-8881  
担当 南波(なんば)まで

## 優秀賞受賞！ H24.10.22 第31回 神奈川県病院学会 ～湘南泉病院～

湘南泉病院の褥瘡対策委員会では、平素ご利用頂いている地域の介護施設向けに褥瘡アンケート調査を実施し、その結果報告を兼ねた地域学習会を開催しました。更に、そこで得られた内容を『褥瘡アンケート調査の結果から見えてきた病診連携の重要性』と題して学会で発表、石川宏美委員が発表者を務め、見事優秀賞を受賞しました。



褥瘡対策委員会のメンバー

## 市民講座 開催のお知らせ

### 『あなたらしく生きるとは』

- 【担当】新中川病院
- 【日時】平成25年3月8日(金)  
17:30～19:30
- 【場所】新中川病院
- 【内容】福田院長 講演 及び  
パネルディスカッションを予定
- 【参加費】無 料

新中川病院の看取りや在宅ターミナルへの関わり方・考え方を、最後まで生ききるという視点から、事例を通して紹介します。

**皆さま奮ってご参加下さい！**



【お問合せ先】  
☎ 045-810-0331  
法人本部 福島